

4 学校との連携事業 ～美術作品鑑賞授業～

事業の趣旨

学校完全週5日制や新学習指導要領の施行による教育環境の変化に伴い、児童・生徒の多様な体験活動の拡充が必要とされているなかで、美術館の役割や美術館と学校との連携のあり方を調査・研究することを目的に平成14～16年度の3ヵ年計画で試験実施する。

事業の内容

学校に県立美術館の所蔵作品を持ち込み、教師と学芸員が連携して鑑賞授業を行うことにより、児童・生徒に本物の美術作品に触れ、優れた美術作品を鑑賞する喜びを体験する場を提供する。

- ア 実施校 県内の小・中・高等学校（障害児学校を含む）各1校
- イ 実施時期 教育ウィーク（11月1日～7日）前後
- ウ 会場 学校内の教室等

開催状況

ア 小学校

- (ア) 開催校 本郷町立船木小学校
(豊田郡本郷町船木1972番地)
- (イ) 開催月日 平成15年11月6日（木）
- (ウ) 指導者 石川哲子 学芸員（当館彫刻担当）
砂谷祐子 教諭（開催校図工科担当）
- (エ) 参加児童 5年生（26人）・6年生（30人）
- (オ) テーマ 様々な人物表現を鑑賞する
- (カ) 展示作品
 - ・小早川篤四郎 作 少女全像（油彩）
 - ・鶴岡政男 作 帰りみち（油彩）
 - ・熊倉順吉 作 笑いの稽古（陶器）
 - ・八木一夫 作 右の目と左の目の情報（黒陶）
 - ・佐藤敏 作 南の少女（陶器）
 - ・芥川永 作 おとなの影（ブロンズ）（計6点）
- (ク) 関連記事 「美術鑑賞」なぞ解きみたい～本郷・船木小で学芸員が授業 表現の多様さ学ぶ」
中国新聞（福山・尾三圏）／平成15年11月7日



イ 中学校

- (ア) 開催校 廿日市市立廿日市中学校
(廿日市市桜尾3丁目9-1)
- (イ) 開催日時 平成15年11月11日（火）
- (ウ) 指導者 角田新 主任学芸員（当館洋画担当）
多賀谷より子 教諭（開催校美術科担当）
- (エ) 参加生徒 3年生（138人）
- (オ) テーマ 風景画を鑑賞する



- (カ) 展示作品 小林千古 作 広島夏の川 (パステル)
檜山武夫 作 プラットホーム (油彩)
灰谷正夫 作 砂 (油彩)
寺田政明 作 二つの道 (油彩)
金光松美 作 Mt. Whitney (アクリル) (計5点)
- (ク) 関連記事 「廿日市中学校『名画がやって来た』県立美術館から学芸員が解説」
西広島タイムス／平成15年11月14日

ウ 連携型中高一貫教育校

- (ア) 開催校 芸北町立芸北中学校／県立加計高等学校芸北分校
(山県郡北広島町川小田75-1)
- (イ) 開催日時 平成15年10月28日 (火)
- (ウ) 指導者 藤崎綾 学芸員 (当館洋画担当), 品川知枝 教諭 (開催校美術科担当)
- (エ) 参加生徒 中学1年生 (24人), 高校1年生 (選択美術10人)
- (オ) テーマ 不思議な絵を鑑賞する
- (カ) 展示作品 土屋幸夫 作 果てしなき餐食 (油彩)
山路商 作 犬とかたつむり (油彩)
桂ゆき 作 土 (油彩)
寺田政明 作 生と死の凝視 (油彩) (計4点)

